

第2回米日中先端医療技術交流会—予防医学と長寿命化—開催報告

日時：2018年6月14日 15:00～17:20

会場：東京農工大工業大学 すすかけ台キャンパス

主催者：東京工業大学生命理工学院 光生命制御グループ

未来アジア技術フォーラム (TeFFA)

協賛者：新華聚財(北京)投資諮詢有限公司、クラレンドン研究所

プログラム：

15:00 開会挨拶

米日中先端医療技術交流会 会長

15:10 講演1

“Molecular Imaging in the Era of Precision Medicine”

Zhen Cheng

Director of Cancer Molecular Imaging Chemistry Laboratory (CMICL), Molecular Imaging Program at Stanford and Bio-X Program, Canary Center at Stanford for Cancer Early Detection, Stanford University

16:10 講演2 「アミノレブリン酸を用いた癌の診断・治療からスクリーニング」

小倉俊一郎 東京工業大学生命理工学院

16:30 講演3 「光線力学治療における光増感剤」

湯浅英哉 東京工業大学生命理工学院

16:50 講演4 「中性子捕捉療法の現状と次世代ホウ素薬剤開発戦略」

中村浩之 東京工業大学・科学技術創成研究院・化学生命科学研究所

17:10 閉会

中国とインドからの参加者、学生を含めて約40名が集い、Stanford大学のZhen Cheng教授の講演、東工大生命理工学院の3教授の講演を熱心に聴講し、医療に関する最先端の技術について討議した。

開会前には、Zhen Cheng教授とインドからの参加者は三原学院長を訪問し、交流した。

閉会後はラウンジにて参加者が懇親し、米国、中国、インド、日本間で交流し、友情を深めた。

